



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第15号

令和5年9月1日

(発行者) 佐古 達哉

♪ さあ、始めました！！

楽しかった「夏休み」も終わりを迎え、いよいよ（ようやく？とうとう？）今日から学校生活が再開しました。まずは、長かった夏休み期間中に大きな事故・事件なく、生徒・教職員みんな揃って9月1日を迎えられたことを何より嬉しく思います。さて、そんな夏休みの間も、いろいろな場面で生徒や先生方ががんばる様子が見られましたので、まずは「夏の締めくくり」として、ほんの一部になりますがお伝えをします。

まずは、7月上旬から始まった「中学校総合体育大会」ですが、夏休み中に陸上の県大会に出場をして「予選」を勝ち上がり、決勝レースに進出をして活躍をした生徒がいました。また、運動部だけでなく、文化部の「吹奏楽部」の皆さんも、「西尾張地区吹奏楽コンクール」で金賞を受賞し、8月上旬に開催された「愛知県吹奏楽コンクール」に出場したり、7月末に佐織公民館で開催された「ジュニアコンサート」で楽しい演奏を繰り広げたりして大活躍をしました。



10月に開催をする「学校祭」に向けて、さまざまな活動もがんばっていました。創作部や茶華道クラブが活動をしたり、各ブロックで協力をして学級旗やダンスの制作に取り組んだり、各種オーディションなども開かれたりして、それぞれの立場で着実に準備を進めました。学校祭本番が本当に楽しみです！



先生方については、この夏休み期間を使って休暇を取得し、プライベートを充実させたり、心身のリフレッシュを図ったりする先生が多くいたようです。仕事面では、普段なかなか時間が取れない「研修」を学校としても、個人としても計画・実施をして、9月からの授業・学校づくりに生かそうと取り組みました。

また、それ以外にも代表生徒が愛西市の中学生サミットや広島派遣事業に参加したり、ボランティアとして1年生徒7名が「少年消防クラブ」として1日体験に参加したり、また昨年度の3月に実施をしたUFJ銀行とのコラボ授業の成果発表としてUFJ銀行本社役員会にてオンラインでプレゼンテーションを3年の代表グループが行ったりなど、多様な取組が夏休み中にありました。



夏休み中も実施をしていた「心と体のアンケート」を見ると、子どもたちの中にも「学校再開が楽しみ！」という子と、「学校が始まるのが嫌だ〜」という子の、どちらもいることがわかります。人それぞれに楽しみや不安を抱えながらの学校再開になりましたが、夏休み期間に培ったさまざまな経験や思いを大切にしながら、「多様な『幸せ』実現」に向けて、また今日からがんばっていきましょう。保護者の皆様におかれましても、これまで以上にパワーアップしてがんばる生徒や先生方に、より一層のご支援ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

♪ 7月実施「グループ担任制に関するアンケート」【生徒用】の集計結果について

設問.1

「グループ担任制」の取組について、現時点での思いを教えてください（選択した理由等については設問2以降に記入してください）。

回答

番号	回答内容	グラフ	割合	回答数
1	よいと思う		54.4%	62名
2	よくないと思う		6.1%	7名
3	分からない		39.5%	45名

【よいと思うことより】

- ・ 1人の担任の先生にクラスが依存することがないので、生徒が不満を持っていた時に、別の担任にそれを話すことができたりと良いことづくしだと思います！

- ・ いろいろな先生と感情を深めることができるから。
- ・ いろいろな先生と話す機会がある。
- ・ 進路について話す先生が自分で決められて良かった。
- ・ いろいろな先生の話が聞ける。
- ・ いろんな先生との関わりが増えた。
- ・ どの先生にも話しかけやすくなった。
- ・ どの日も違った担任の先生のパターンがあるから面白い。
- ・ なんか新鮮な感じがする。
- ・ ワクワクする
- ・ 何か相談するときに先生を選べること。
- ・ 自分が希望する先生に相談できるところ。

【よくないと思うことより】

- ・ 「この先生に話したい」ということがあっても、明日誰かわからなかったりとか曜日ごとにばらばらだったりするからちょっと大変。
- ・ たまに連携できていないときがあったりします。
- ・ なんかよくわからない。1人の先生に絞った方が効率いいかなと思う。
- ・ 今日誰が担当なのか、はっきりしていないこと。
- ・ 今日の先生が誰かわからなくなる。
- ・ 先生によって言っていることやルールが違う。
- ・ 先生の負担が大きすぎる。
- ・ グループ担任になる事で、先生の責任感が薄れる。
- ・ グループ担任制が持続可能なものかわからない。
- ・ 先生たちが異動になったときなど不便ではないか。
- ・ 自分の担当の教育相談の先生がいるなら、自分と同じ教育相談担任の先生の生徒と同じクラスじゃないと二者懇談の効率があまり良くないと思います。先生が大変そう。
- ・ 先生と生徒がちゃんと関わっていない。昨年、一昨年よりも関われなくなった。
- ・ 担任が変わるせいで、教師がクラスの生徒を把握できていない。
- ・ 仲が深まりにくい。
- ・ 用事がある時にその先生がどこにいるのかわからない。
- ・ 良いと思ったことで誰にでも相談ができると書いたけど、逆に誰に相談すればいいのかわからない時がある。

【その他】

- ・ クラスが毎日入れ替わるから、先生が大変そう
- ・ 学活などは仮担任が授業をすることが多くて、結局は仮担任がクラス担任になっている感がある。
- ・ この日にどの先生がクラスに入るのか週予定みたいに教えてほしいです。
- ・ どういう意味があるのか知りたい。
- ・ 固定でもいいと思った
- ・ 受験とかで大変なのにこの周りの変化やばたつきが正直ストレスになってます。
- ・ 正直アンケートとってもそれがどうなるのかよくわからない。アンケートとって終わりにになっている気がする。改善のためにやっているのか、状態を知るためにやっているのか、そこを明確にしてほしい。

- ・ 今の校長先生だからやっているか、校長先生が変わったらなくなるのか。
- ・ 中学校からやるより小学校から始めないと不便な気がします。あと、新任の先生、転校生、異動してきた先生もグループ担任制は不便に感じるのでは?そこからバタつき生徒が不安に思うと思います。
- ・ 受験などでグループ担任制だとやはりまだ不安です。でも最近は慣れてきて、すごく不満・不安というわけではありません。ただ、やっぱり私としては固定の担任の方が安心できます。行事ごとなどは先生も含めて1クラスだと思います。「生徒だけで」というのは少し無理があるんじゃないかなーとは思っています。

生徒の皆さんに実施をしたアンケート結果を見ると、それぞれに多様な思いをもっていることが伝わってきます。「グループ担任制」は、今年度から本校で始めた新たな取組ではありますが、こういった皆さんの「よいと思うところ」「よくないと思うところ」をきちんと把握した上で、良い点は失われることがないように大切に、良くない点は生徒の皆さんにとってマイナスになっている部分を、どうしたら減らせるかを考えるヒントにして、改善に努めていきたいと思っています。

担任制度については、長年学校現場で、それこそ当然のように採用されてきた固定制が今でも国内での「多数派」であり、長年の実績で得られた膨大なノウハウの蓄積に対する「安心感」「長所」が多くあることは間違いありません。そんな中での「グループ制」実施ということで、生徒・保護者・教員の中に「不安」や「心配」を感じる声があるのも当然のことと思います。学校としては、子どもたちにとってかけがえのない「令和5年度」というこの時期が、「こんなはずじゃなかった」という取り返しのつかない状況になってしまうことは絶対なくすという前提で、さまざまな活動に対してこれまで以上に入念な準備・計画をして実施を進めています。そしてこの「新たな取組の1年」を経験する中で、「心配だったけど、実際は大丈夫だった」「あまり心配していなかったけれど、実際にはこんな困ったことがあった」といった成果や課題をこまめに把握し、これまでの固定制では成し得なかったよりよい学校づくりを推進していきたいと考えています。

今回集約した意見の中に、「このアンケートがどうなるのか分からない」「校長先生が変わったらなくなるのか」という声がありましたが、このアンケート自体が取組の評価として大きな意味をもっており、特に学校の主役である「生徒」の皆さんの声こそが、学校づくりの方向性を決めていく指針となります。4月17日に行った今年度最初の朝礼で、「学校は・人生は、あなたたちのもの」としたスライドを皆さんに示しながら私から全校の皆さんに話をしましたが、これからも「学校の主役は自分たちだ!」という自覚と思いを各自がもちながら、皆さんの手でよりよい学校づくりを進めていってほしいと願います。

生徒の皆さんが「どうせ自分が思っていることなんか言っても意味がない」と思うことなく、それぞれの「心の声」を大切にしながら、また今日から始まる学校生活を有意義なものにしていきましょう!!

♪ お知らせ

- ・ 8月から、本校の給食調理の委託業者が変更になりました。7月まで7年間お世話になった「魚国」の皆さんには、7月20日の給食時に生徒からお礼を伝える場を設けることができました。ちなみに新しい業者は「シダックス」になります。ご承知おきください。

